

2017年1月15日

第1回山岳自然環境セミナー開催要項

主 催 山岳団体自然環境連絡会

協 力 環境省

〔主催者構成メンバー：(公社)日本山岳協会、日本勤労者山岳連盟、(公社)日本山岳会、(NPO法人)日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト、(公社)東京都山岳連盟、(公社)日本山岳ガイド協会、山はみんなの宝クラブ〕

メインテーマ：「山の自然が崩壊する、深刻化するニホンジカの被害」

近年、日本列島の各地でニホンジカ（以下「シカ」と表記）の個体数が急激に増加し、その生息域が高山・亜高山帯にまで拡大し、山岳地の生態系に深刻な影響を与えています。シカの被害として、森林の衰退、希少植物の消失、土壌の浸食などが発生し、わが国の豊かな生物多様性を守る上で、一刻も放置できない問題となっています。登山者も、山岳地域でその状況をつぶさに見ており、山を愛する者として何らかの行動をすべきと考えております。

本セミナーは、国立公園等の被害の現状、捕獲作業の状況、人間との共生、登山者から見た問題点などを紹介し、山岳地におけるシカ問題の緊急性を強く訴えるとともに、被害対策の促進をはかることを目的として開催いたします。

これからの自然保護、野生動物との共生を考える良い機会であり、多くの方々のご参加を期待します。

記

日 程：2017年3月11日（土）13時～17時

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター・センター棟 102号室
（〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1）

主要行事：

基調講演：「国立公園におけるニホンジカの被害と対策」

講演者： 環境省自然環境局国立公園課専門官 笹淵紘平

パネルディスカッション：「山岳地のシカ対策、共生を促進するための課題」

（1）パネリストからの報告

「登山者から見たシカの問題」（公社）日本山岳ガイド協会常務理事 武川俊二

「山の恵みとしてのシカと人間との共生について、林業と狩猟者の視点から」

（株）柳沢林業・代表取締役 原 薫

「南アルプス国立公園のシカ対策、現場からの報告」

環境省南アルプス自然保護官事務所自然保護官 仁田晃司

「山岳地におけるシカの捕獲」、(一財)自然環境研究センター上席研究員 青木 豊

（2）討議&質疑応答：（モデレーター）山岳団体自然環境連絡会代表幹事 花村哲也

参加費（資料代）：500円

参加予定人数： 150人

申し込み先：

- ・日本勤労者山岳連盟の会員は、自然保護委員会事務局

林祥介 Email: nd52123@ca2.so-net.ne.jp もしくは
事務局 jwaf@jwaf.jp に申し込みください。

- ・一般参加者は、下記にお申し込みください。

山岳団体自然環境連絡会事務局（幹事団体：日本勤労者山岳連盟）

担当者 林祥介 Email: nd52123@ca2.so-net.ne.jp FAX:03-3421-4782

詳細 プログラム

12:30	(受付開始)	
13:10 ~ 13:15	開会挨拶	
13:15 ~ 14:00	< 基調講演 > 「国立公園におけるニホンジカの被害と対策」 環境省自然環境局国立公園課・専門官	笹淵紘平
14:00 ~ 14:10	(休憩)	
14:10 ~ 15:30	< パネリストからの報告 >	
14:10 ~ 14:30	「登山者から見たシカの問題」 (公社) 日本山岳ガイド協会・常務理事	武川俊二
14:30 ~ 14:50	「山の恵みとしてのシカと人間との共生について、林業と狩猟者の視点から」 (株) 柳沢林業・代表取締役	原 薫
14:50 ~ 15:10	「南アルプス国立公園のシカ対策、現場からの報告」 環境省南アルプス自然保護官事務所・自然保護官	仁田晃司
15:10 ~ 15:30	「山岳地におけるシカの捕獲」 (一財) 自然環境研究センター・上席研究員	青木 豊
15:30 ~ 15:45	(休憩)	
15:45 ~ 16:45	< パネルディスカッション > テーマ: 「山岳地のシカ対策、共生を促進するための課題」 モデレーター: 山岳団体自然環境連絡会・代表幹事	花村哲也
16:45 ~ 16:50	閉会挨拶	

* 都合によりプログラムの内容が変更となる場合がございます。